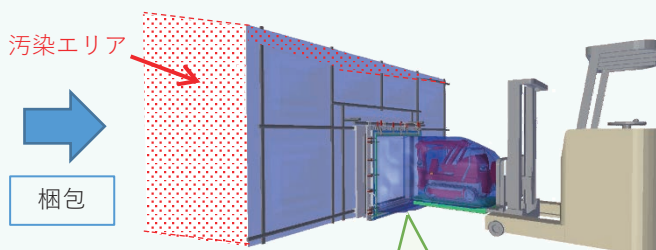
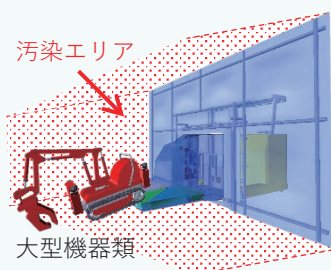


## 大型機器類のバッグイン・バッグアウト方法

- 汚染した大型機器類の再利用が可能
- 長尺のビニルバッグをその場溶着・切断が可能
- 1m<sup>3</sup>のグローブボックスを搬入可能

キーワード：バッグイン・バッグアウト方法、グローブボックス解体撤去、汚染コントロール

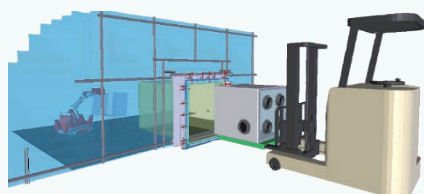
グローブボックス等を解体撤去する際、汚染拡大防止のため、解体撤去物の周りにテントを設置。汚染を出さずに重量物等を安全・安定に搬出入する方法。



〈大型機器類のバッグアウト〉

- ・グローブボックスの解体において大型機器類を廃棄せずに再利用可能

⇒大型機器類の再利用により、**工期短縮**、**コスト低減可能**

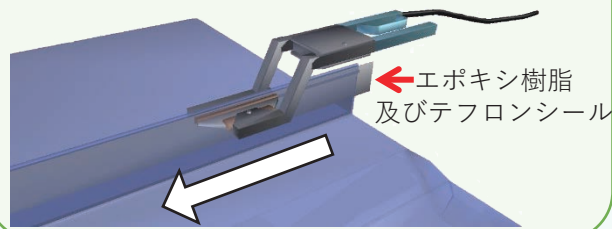


〈グローブボックスのバッグイン〉

- ・1m<sup>3</sup>のグローブボックスをテントに搬入可能
- ⇒**テント資機材の節約**及び**設営期間の削減**による**コスト低減可能**

溶着・切り離し

オフセット型又はT字型高周波シーラー



〈長尺ビニルバッグの溶着方法〉

- ・ビニルバッグにエポキシ樹脂及びテフロンシールを挟み込み溶着することで、**長尺でも溶着可能**

### 技術のステージ



実用化開発

### 関連業種

設備工事、医療業、  
職別工事業（設備工事業を除く）

### 利用分野

- ・核燃料物質、化学物質、ウィルスなどの病原体を取扱った設備の解体
  - ・福島第一原子力発電所の廃止措置
- 知財・関連技術情報  
特許第7217497号

技術の詳細

